

令和8年度 岩手県立花泉高等学校経営計画

校長：伊藤 治子

<p>1 校訓・教育目標</p>	<p>校訓 知行合一 (実行・実践を伴う知識・思考)</p> <p>魅力化コンセプト — 知る、動く、変わる。花高マジック—</p> <p>教育目標 (1) 幅広い知識と教養、真理を求める態度を身につけた生徒を育成する。 (2) 豊かな情操と道徳心を持ち、心身の調和のとれた生徒を育成する。 (3) 進んで働こうとする意欲を持ち、社会に貢献できる生徒を育成する。 (4) 伝統と文化を尊重し、国と郷土を愛する心を持った生徒を育成する。</p>
<p>2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー</p>	<p>地域と世界を見据え、自らの人生を切り拓く力を育成する学校</p> <p>(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)</p> <p>実践的知性(知) 基礎・基本の知識を習得し、得た知識を社会や地域の課題解決に結びつけて活用できる力。 主体的な行動力(行) 失敗を恐れずに一歩踏み出し、自ら立てた目標に向かって粘り強く取り組める力。 共創の精神(合一) 多様な価値観を持つ人々と対話し、互いに支え合いながら新たな価値を創り出す力。</p> <p>(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)</p> <p>地域探究を核とした、本物とつながる『動く学び』の実現を目指す学校</p> <p>花高魅力化プロジェクト「花プロ」を軸とした教育課程 花泉の町を教室に見立て、地域の大人をメンターとして、実社会での課題解決に挑む探究学習を展開する。 個別最適な伴走支援 少人数校の強みを活かし、一人ひとりの興味・関心や進路希望に応じたオーダーメイド型の指導を行う。 知行合一の循環 教室での座学(知)と、地域での実践(行)を往還させることで、生きた学力を定着させるカリキュラムを編成する。</p> <p>(3) 入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)</p> <p>一歩踏み出したい生徒の意志を全職員でサポートする学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科学習・学校行事だけでなく、部活動や地域の活動・行事に積極的に参加し、多様な価値観を受け入れ自分を成長させたい人。 ・少人数の温かな環境の中で、仲間や先生と深く関わりながら、自分の良さを見つけない人。 ・「今の自分を変えたい」「何か新しいことに挑戦したい」という強い意欲を持っている人。
<p>3 魅力化協働パートナー</p>	<p>一関市花泉支所、一関市市民センター、花泉ロータリークラブ、花泉先人顕彰会、花泉中央振興商店街、花泉小学校、花泉中学校、同窓会、PTA</p>

4 目指す 学校像	(1) 今年度の重点 目標	重点目標	達成指標
		ア 探究的な学びの実現に向けた基礎学力向上及び授業力向上	先生は指導を工夫し、わかりやすい授業を行っている と 答えた生徒の割合【90%以上】
		イ いじめ防止対策組織の取組によるいじめの早期発見と未然防止	学校はいじめのない学校づくりをしている と 答えた生徒の割合【90%以上】
		ウ キャリア形成に向けた適切な生徒指導による進路希望の実現	生徒の能力や適性を踏まえた進路指導を行っている と 答えた生徒の割合【90%以上】
		エ 学校情報の積極的発信と地域、保護者と連携した開かれた学校づくりの実現	家庭、地域に向けて、積極的に情報を発信していると答えた保護者の割合【90%以上】
		オ 総合的な探究の時間「地域創造学」の充実による魅力化の推進	学校は積極的に地域との交流を図っていると答えた保護者の割合【90%以上】
		カ 不適切な指導の根絶を組織として取り組む、	教職員は生徒の話に耳を傾け、相談等に対し丁寧に応じている と 答えた生徒の割合【90%以上】
	(2) 取組方針	ア 探究的な学びの実現に向けた基礎学力向上及び授業力向上 (ア) 個に応じたきめ細やかな指導により、わかる授業を展開する。 (イ) 認知機能トレーニングやAI教材などICTを活用した学びを推進し、基礎学力の伸長と生活の質向上を目指す。	
		イ いじめ防止対策組織の取組による早期発見と未然防止と個別最適な学びの実現 (ア) 校訓「知行合一」を常に意識し、全校生徒・職員が「完璧にできなくてもいい。まず動く。」姿勢を大切に、互いを尊重し合える組織を構築する。 (イ) 生徒の「居場所作り」と「絆づくり」の推進によるいじめの防止や安全指導・保健指導・食育指導を徹底する。	
		ウ キャリア形成に向けた適切な生徒指導と進路希望の実現 (ア) 3年間を見通したキャリア形成事業の推進により、地元企業や関係機関との連携深化に取り組む。 (イ) 将来を見据えたキャリア教育の推進により、他者との繋がりを大切に生きた生きる力を身につけさせ、進路実現を図る。	
エ 学校情報の積極的発信と地域、保護者と連携した開かれた学校づくりの実現 (ア) 学校広報紙「花高通信」公式noteによる本校の魅力発信強化。 (イ) 学校活動の活性化を地域と協働して図る。(各種ボランティア活動や体験的活動への積極的参加を推進し、生徒の充実した学校生活を実現する。)			
オ 総合的な探究の時間「花プロ」の充実による魅力化の推進 (ア) 探究的な学びを通して、地域理解を深めながら、社会参画力・人間関係形成力・自律的活動力をデータ活用能力とともに伸長する。 (イ) 教育支援人材を活用し、地域社会が持つ教育資源と学校を円滑に繋ぐことで生徒の多様な能力を活用し魅力化を図る。			
カ 不適切な指導の根絶を組織として取り組む、 (ア) 生徒が生き生きと学べる学校づくりを目指す、教職員としての高い倫理観と規範意識を持ち教育活動に専念する。 (イ) 生徒・教職員・保護者・地域が高校魅力化に協働して取り組むことで、それぞれが学校改革の当事者として互いを尊重する気風を醸成する。			
5 業務量管理・健康確保措置			
<ul style="list-style-type: none"> ・月当たり時間外在校時間の縮減 ・生成AIの適切な活用をはじめとするDX推進による業務改善 ・衛生委員会の定期的開催による職員の健康及び安全衛生管理の徹底 			